

A 常陸太田市  
B 筑西市  
C 桜川市  
D 結城市

# 常陸秋そば

蕎麦通がうなる、本物の味わい



サイズ目安 そば粉 1kg、丸抜き 1kg / 袋

旬の時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 ★★ ★

問い合わせ先 A 常陸太田市常陸秋そば協議会【TEL／0294-72-3111】〒313-8611 常陸太田市金井町3690  
B C D JA北つくば【TEL／0296-25-6603】〒308-0832 筑西市西稲生1212-1  
E JA常陸【TEL／0294-70-3488】〒313-0125 常陸太田市大里町4059

O S U S U M E  
p o i n t

- ①玄そば最高峰の香り、味、品質
- ②高品質を維持するために、茨城県内では、常陸秋そばのみの栽培を奨励
- ③粒ぞろいが良く、製粉歩合が高い

おすすめ  
ポイント

- ①玄そば最高峰の香り、味、品質
- ②高品質を維持するために、茨城県内では、常陸秋そばのみの栽培を奨励
- ③粒ぞろいが良く、製粉歩合が高い

## 昭和から愛され続ける 伝統のそばブランド。

**玄そば最高峰の香り、味、品質。**  
蕎麦職人や蕎麦通から圧倒的な支持を得る「常陸秋そば」。玄そばの優良品種として、その名を知らしめています。実が大きくて、粒ぞろいが良いのが特長。



江戸時代からそばどころとして知られていた茨城県。歴史ある産地ゆえに各地でさまざまな在来種が作られていました。品質の高い統一品種をお届けしたいとの思いから、昭和53年茨城県農業試験場（現茨城県農業総合センター）が在来品種を使い、選抜育成をスタート。県内在来種の中で当時最もおいしいと言われていた金沙郷（かなさごう）在来種を親として採用しました。さらに、実の粒を大きくし、収穫量を増やすとともに、粒形を揃えることで製粉の効率を高めることに成功。こうして茨城の気候に適したブランド品種「常陸秋そば」が誕生したのです。昭和60年には県の奨励品種として採用されています。

豊かな香りと甘味が人気です。常陸秋そばの魅力であるこの優れた品種特性を維持するため、他の品種が混ざらないよう種子を厳しく管理するとともに、県内では他の品種を栽培しないようお願いしています。この常陸秋そばの原産地農家では、高齢化や後継者の問題を抱えていませんが、そんな中でも彼らが全力で栽培に取り組むのは、「自分たちが作るそばが日本一」という誇りがあるから。そんな思いこそが、玄そば最高峰の評価につながっているのです。

